

平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号	02 08 06	中期総合計画主要施策番号	4-02 4-03	担当課	部・課	企画部 生活文化課	
事業名	文化施設管理運営事業(創造館)			内線	2846		
				E-mail	seibun@pref.nagano.jp		
事業の概要等	事業の目的	・施設利用者(県民・文化団体等)が快適かつ安全に利用できる施設運営を行う。 ・利用者に創作活動の場を提供すると共に、芸術文化グループを育成し、県民の芸術文化活動の発展に寄与する。					
	事業の必要性	[現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)] ・文化芸術の創作活動を行う場に対するニーズがある。					
		[原因分析(ギャップが発生している原因は何か)] ・文化芸術の創作活動を行う場が限られている。					
		[課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)] ・県立創造館の管理運営を行い、地域住民に創作活動の場を提供する必要がある。					
	事業内容	・飯田創造館及び佐久創造館の次に掲げる業務を指定管理者が行う。 施設設備の維持管理、利用許可及び利用料金の徴収等、芸術文化の振興に資する事業の実施					
実施期間	S54 ~	根拠法令等	長野県都市公園条例第20条				
成果と達成状況	事業の目指す成果	達成度(期待どおり)の判定基準(H20)		達成状況		評価	
	県立創造館の運営により文化芸術の創作活動の場を広く県民に提供する。 【参考】 県立文化施設の利用者数のH20~24年度累計目標:6,323,000人	県立創造館2館の適切な管理運営を行うとともに、利用者サービスの向上を図り、県立文化施設利用者数の目標値をもとに創造館においては年間178,720人程度の利用を目指す。		目標人数を上回る利用者数(197,810人)となった。		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下	
事業コスト	区 分	単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要	
	最終予算額 (A)	千円	59,197	58,838	58,040	国庫・県単 県単	
	決算額 (B)	千円	58,520	58,823	-	実施方法 委託	
	B(H21はA)のうち一般財源	千円	57,822	58,127	56,344	威田即別内訳等 ・委託料:58,823 (単位:千円)	
	概算人件費	人	0.1	0.1	0.1		
	概算人件費 (C)	千円	714	715	715		
概算事業費 (B(H21はA) + C)	千円	59,234	59,538	58,755			
事業実績	内 容	単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績	
	施設利用率(2館平均)	%	60.7	62.9	63	・施設の適切な管理運営が行われ、利用者に安全で快適な利用環境を提供した。 ・18年度に引き続き、料金割引などによりサービス向上が図られた。	
	利用者数(2館計)	人	202,894	197,810	200,000		
事業の課題	区 分	判定・説明					
	事業のニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の説明 ・創作活動の場として地域文化活動の拠点となっており、文化芸術振興を図るために必要である。 ・地域に密着した施設であり、また、開館以来、近隣地域に類似施設が建設され、県有施設として維持する必要性が低下している。 ・18年度から指定管理者制度が導入され、効率的かつ柔軟な施設運営が行われている。		
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	有効性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
	効率性を高める余地	余地なし	当面余地なし	余地あり			
課題の総括	・老朽化に伴う改修や設備の更新などを計画的に実施し、今後とも利用者の利便を図っていく必要がある。 また、併せて、多様な創作・発表機会の提供に努めるほか、料金割引など利用者サービスを工夫することにより、目標達成に向けて取り組む必要がある。 ・地域に密着した施設であり、県有施設として維持する必要性が低下して来ているため、施設のあり方について検討していく必要がある。						